無断複製は損害賠償、著作権法上の罰則の対象となります。

2006年5月15日発行

木材ニュースレター

(財)日本木材総合情報センター
TEL03-3816-5595　FAX03-3816-5062

木材製品の荷動き・価格先行き動向調査(18年5月分)

１．調査実施期間

平成18年 4月20日 ～5月10日

２．調査実施方法

東京、大阪、名古屋の流通企業(問屋、仲買・小売商)に対し、ＦＡＸによりアンケート調査票を送受することにより実施した。

５月分の回答企業数は42社、回収率は73.7%である。

３．判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.Ｄ.Ｉ.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)＝{(「増加」の評価を行った回答の割合)×2＋(「やや増加」の評価を行った回答の割合)－(「減少」の評価を行った回答の割合)×2－(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷２

したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

４．調査結果の概要

（１）荷動き動向

表-1　荷動き Weight.Ｄ.Ｉ.

		18/5月	6月	7月
仕入動向	国産材	△ 5.9	△ 13.2	△ 7.6
	外材	△ 7.5	△ 8.8	△ 9.0
販売動向	国産材	△ 11.8	△ 10.3	△ 6.1
	外材	△ 5.1	△ 5.1	△ 1.3
在庫動向	国産材	△ 4.5	△ 4.5	△ 7.8
	外材	△ 7.7	△ 11.5	△ 14.5

仕入は、国産材6月ややマイナス幅を大きくし、7月減じて小さな幅の出入りあるがマイナス基調推移。外材マイナス幅一定でほぼ安定と弱い。販売は、国産材、外材ともマイナス幅を着実に縮め、小さなマイナス幅、より小さなマイナス幅と好転の気配みられる。在庫は、国産、外材ともマイナス幅を6～7月大きくしており外材はより大きなマイナス幅となっている。

（２）価格動向

表-2　価格 Weight.Ｄ.Ｉ.

品　目	18/5月	6月	7月
スギ正角(グリーン)	0.0	1.7	1.8
スギ正角(ＫＤ)	3.7	1.9	1.9
ヒノキ正角	3.4	1.7	3.6
ヒノキ土台角	5.2	1.7	3.6
米ツガ正角(現地挽)	28.8	19.2	11.5
米ツガ防腐土台角	20.4	13.0	7.7
米ツガ割物(現地挽)	30.8	9.6	7.7
米マツ平角	38.9	18.5	15.4
北洋アカマツタルキ(現地挽)	35.2	18.5	11.5
ホワイトウッド集成管柱	28.6	17.9	13.0
レッドウッド集成平角	28.0	20.0	12.0
型枠合板(国産)	61.9	45.2	27.5
型枠合板(輸入)	65.9	40.9	19.0
針葉樹合板	56.8	40.9	23.8

スギ、ヒノキの構造材は小さなプラス幅で堅調な推移である。なおヒノキは6月やや弱いが7月好転傾向。米ツガ正角、土台、割物等は大きなプラス幅をやや小さなプラス幅に縮めるが好調堅持している。米マツ平角、北洋アカマツタルキ特に大きなプラス幅を半減するが依然高水準を維持している。ホワイトウッド、レッドウッド集成材は大きなプラス幅を6～7月に縮めているが、依然好調維持している。合板は極めて大きなプラス幅を6～7月と減じたが依然大きなプラス幅と強い。

〈参考〉木材製品の荷動き・価格先行動向調査　（数値は回答に対する割合）

2006年5月15日発行

1．荷動き

単位：%

品目			18/5月	6月	7月
仕入動向	国産材	増加	0.0	0.0	0.0
		やや増加	14.7	0.0	6.1
		横ばい	61.8	79.4	78.8
		やや減少	20.6	14.7	9.1
		減少	2.9	5.9	6.1
	外　材	増加	0.0	0.0	0.0
		やや増加	20.0	10.0	5.1
		横ばい	50.0	70.0	76.9
		やや減少	25.0	12.5	12.8
		減少	5.0	7.5	5.1
販売動向	国産材	増加	0.0	0.0	0.0
		やや増加	11.8	0.0	9.1
		横ばい	58.8	85.3	75.8
		やや減少	23.5	8.8	9.1
		減少	5.9	5.9	6.1
	外　材	増加	0.0	0.0	2.6
		やや増加	20.5	10.3	13.2
		横ばい	53.8	74.4	68.4
		やや減少	20.5	10.3	10.5
		減少	5.1	5.1	5.3
在庫動向	国産材	増加	3.0	3.0	0.0
		やや増加	6.1	0.0	3.1
		横ばい	72.7	84.8	81.3
		やや減少	15.2	9.1	12.5
		減少	3.0	3.0	3.1
	外　材	増加	0.0	0.0	0.0
		やや増加	12.8	2.6	2.6
		横ばい	64.1	76.9	71.1
		やや減少	17.9	15.4	21.1
		減少	5.1	5.1	5.3

2．価格動向

品目		18/5月	6月	7月
スギ正角（グリーン材）10.5×10.5cm×3m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	3.4	3.4	3.6
	横ばい	93.1	96.6	96.4
	やや下落	3.4	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
スギ正角（ＫＤ材）10.5×10.5cm×3m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	7.4	3.7	3.8
	横ばい	92.6	96.3	96.2
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
ヒノキ正角 10.5×10.5cm×3m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	6.9	3.4	7.1
	横ばい	93.1	96.6	92.9
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
ヒノキ土台角 12.0×12.0cm×4m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	10.3	3.4	7.1
	横ばい	89.7	96.6	92.9
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
米ツガ正角（現地挽）9.0×9.0cm 10.5×10.5cm ×3～4m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	57.7	38.5	23.1
	横ばい	42.3	61.5	76.9
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
米ツガ防腐土台角	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	40.7	25.9	19.2
	横ばい	59.3	74.1	76.9
	やや下落	0.0	0.0	3.8
	下落	0.0	0.0	0.0
米ツガ割物（現地挽）	上昇	0.0	0.0	3.8
	やや上昇	61.5	19.2	11.5
	横ばい	38.5	80.8	80.8
	やや下落	0.0	0.0	3.8
	下落	0.0	0.0	0.0
米マツ平角		3.7	3.7	3.8
	やや上昇	70.4	29.6	23.1
	横ばい	25.9	66.7	73.1
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
北洋アカマツタルキ（現地挽）	上昇	0.0	0.0	3.8
	やや上昇	70.4	37.0	15.4
	横ばい	29.6	63.0	80.8
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
ホワイトウッド集成管柱（5層国内産）	上昇	0.0	0.0	3.7
	やや上昇	57.1	35.7	18.5
	横ばい	42.9	64.3	77.8
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
レッドウッド集成平角	上昇	0.0	0.0	4.0
	やや上昇	56.0	40.0	16.0
	横ばい	44.0	60.0	80.0
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
型枠用合板（国産品）	上昇	28.6	19.0	10.0
	やや上昇	66.7	52.4	35.0
	横ばい	4.8	28.6	55.0
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
型枠用合板（輸入品）	上昇	31.8	18.2	9.5
	やや上昇	68.2	45.5	28.6
	横ばい	0.0	36.4	57.1
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	4.8
針葉樹構造用合板	上昇	18.2	22.7	9.5
	やや上昇	77.3	36.4	33.3
	横ばい	4.5	40.9	52.4
	やや下落	0.0	0.0	4.8
	下落	0.0	0.0	0.0

〈モニターからのコメント〉

○ 関東では米マツ製材マーケットを牽引してきたプレカット向け製材品の荷動きが悪化。製材販価も頭打ちとなり、米マツ丸太価格の上げも完全に止まった。（東京:問屋）

○ 国産材原木のシフトする北洋材の国内メーカーが増加中。スギ原木の伐採寸法が変化中である。（東京:問屋）

○ ４月下旬よりほんの少し引合いが増え、成約もするようになってきて、薄日が差してきたか？　ただ相場の弱さは相変わらずである。（東京:問屋）

○ 外材全般は１～３月よりも動きが良いようです。（東京:問屋）

○ 中国での無垢フローリングに対する消費税便乗値上げは収まったが、依然としてオイル高で製品全体のコストは上昇中。（東京:問屋）

○ ４月は前月に比べ多少の期待感を持っていたが、全くダメ。連休前の一仕事も無く、最低でした。旧盆明けに期待。（東京:問屋）

○ プレカットは繁忙だが逆に単価が厳しく、市売部門には繁忙の影響は殆ど無い。（東海:問屋）

○ 米マツの値上がり、WWの値上がり、連休明けに一斉に転嫁します。（東海:問屋）

○ 景気上昇の時といわれ、またこの業界、川上サイドでは価格も強気のようであるが、川下に於いては相変わらず動きが悪い。悪すぎる。このままでは何時まで店を開いていることが出来るのか、今年は決断の年になりそう。（東京:仲買小売）

○ 外材、合板は値上げの話が続々と来るが、仕事の話は少ない。１カ月前よりはまだ良いが、まとまった荷動きは無い。（東京:仲買小売）

○ 品不足と値上げとで安価な品物を確保するのに追われている。特にツガＫＤ9.0cm角は不足している。これに対抗出来る国産材を供給できるとすれば、国産材にとってチャンスとなり得るのではないか。（東海:仲買小売）

○ 型枠用合板の価格が上がり過ぎで、販売に影響している。国産材木材は価格安定していて良い。（東海:仲買小売）